

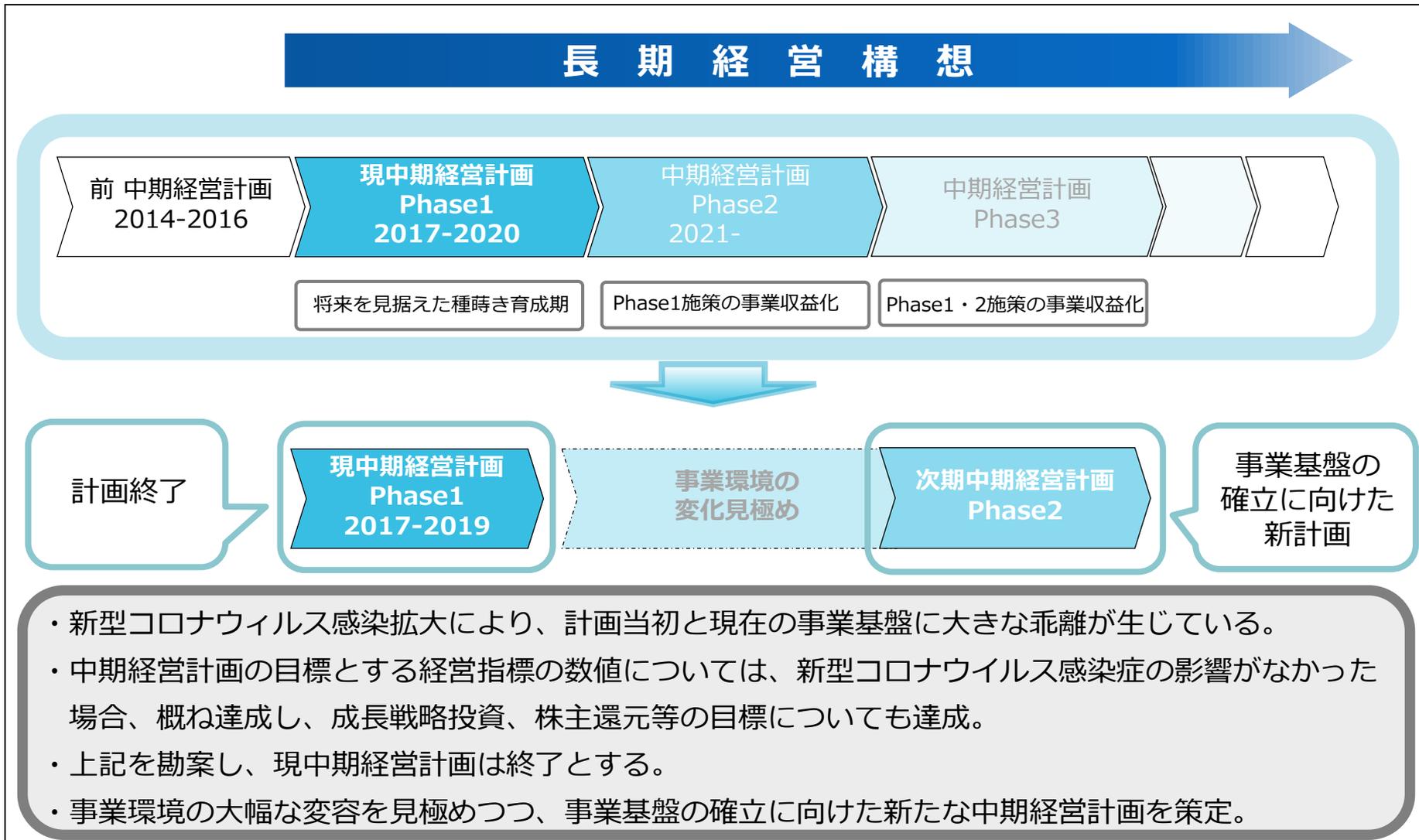


「東武グループ中期経営計画2017～2020」の終了 補足説明資料

2020年7月30日

東武鉄道株式会社

現中期経営計画の終了について



目標数値との比較



新型コロナ影響

営業収益：▲91
営業利益：▲60

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2019年度 コロナ影響 無し(想定)	中期経営計画 目標数値
営業収益(億円)	5,695	6,175	6,539	6,630	6,754
営業利益(億円)	666	673	627	687	685
経常利益(億円)	623	630	584	645	617
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	360	280	355	400	400
減価償却費(億円)	525	535	554	554	573
EBITDA(億円)	1,191	1,208	1,181	1,241	1,258
有利子負債(億円)	7,903	7,931	7,895	7,851	8,199
有利子負債/EBITDA倍率(倍)	6.6	6.6	6.7	6.3	6.5~7.0
ROE(%)	8.3	6.2	7.7	8.6	7.5程度
設備投資(億円)	739	739	887	887	811

成長戦略投資の実績

中期経営計画策定時点の成長戦略投資枠は
1,070億円

成長戦略投資実績は**1,086億円**※
(2017年度~2019年度累計1,011億円)

概ね計画通り成長戦略投資を実施

2020年度以降
収益化する投資
480億円

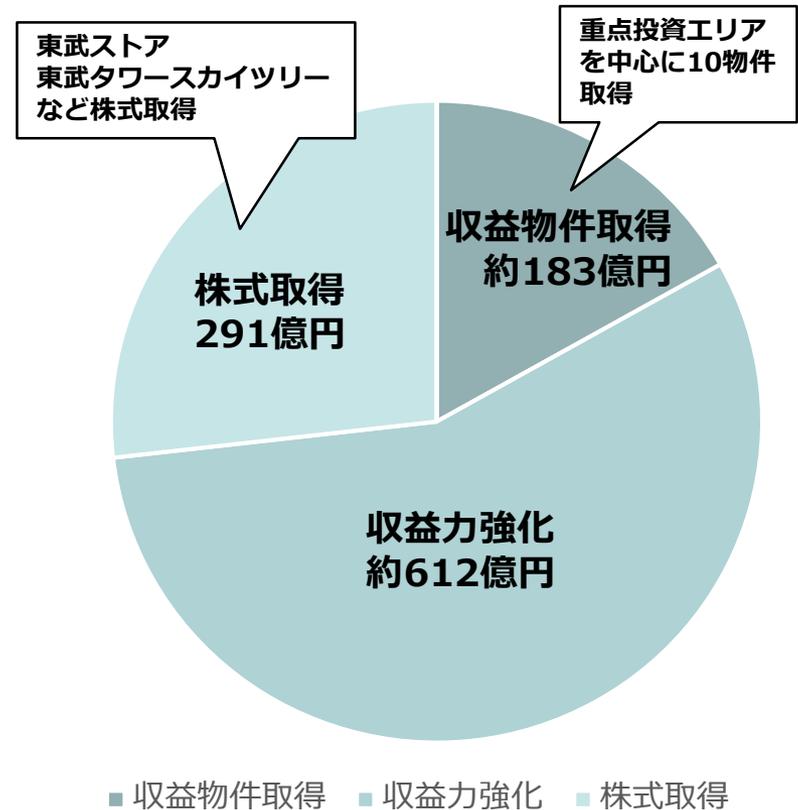
新規5ホテル建設
池袋再開発準備
岩槻駅前複合施設建設
新河岸駅前複合施設建設
など

2019年度末まで
に収益化した投資
606億円

ソライエアイル練馬北町建設
草加ヴァリエリリニューアル
東武ストア新店建設
東武運輸倉庫建設
収益物件取得
株式取得
など

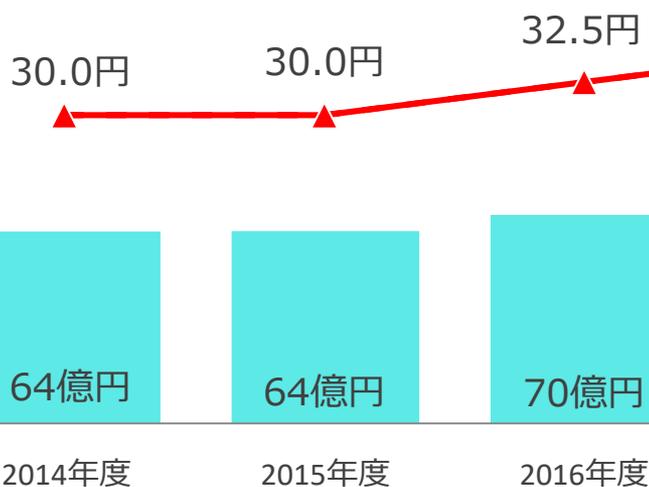
※2017年度~2020年度1Qの累計

成長戦略投資内訳



株主還元の一層の充実

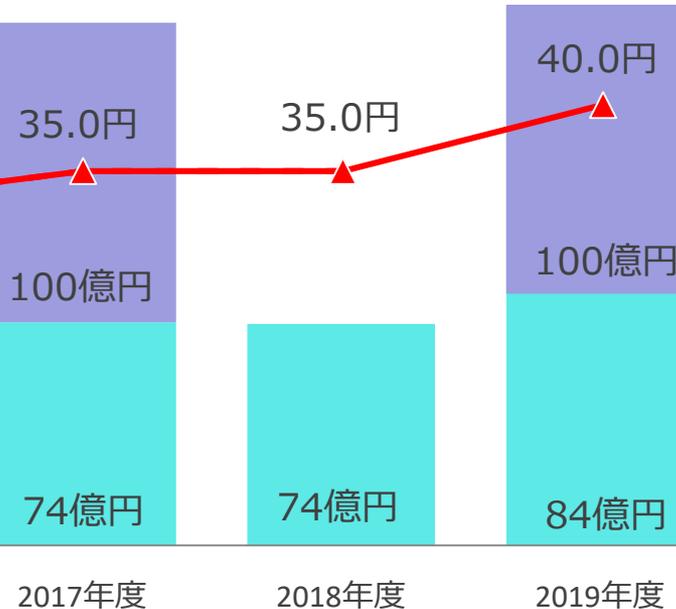
【前中期経営計画】



総還元性向：21.0%

【現中期経営計画】

中期経営計画期間中の
総還元性向30%を達成

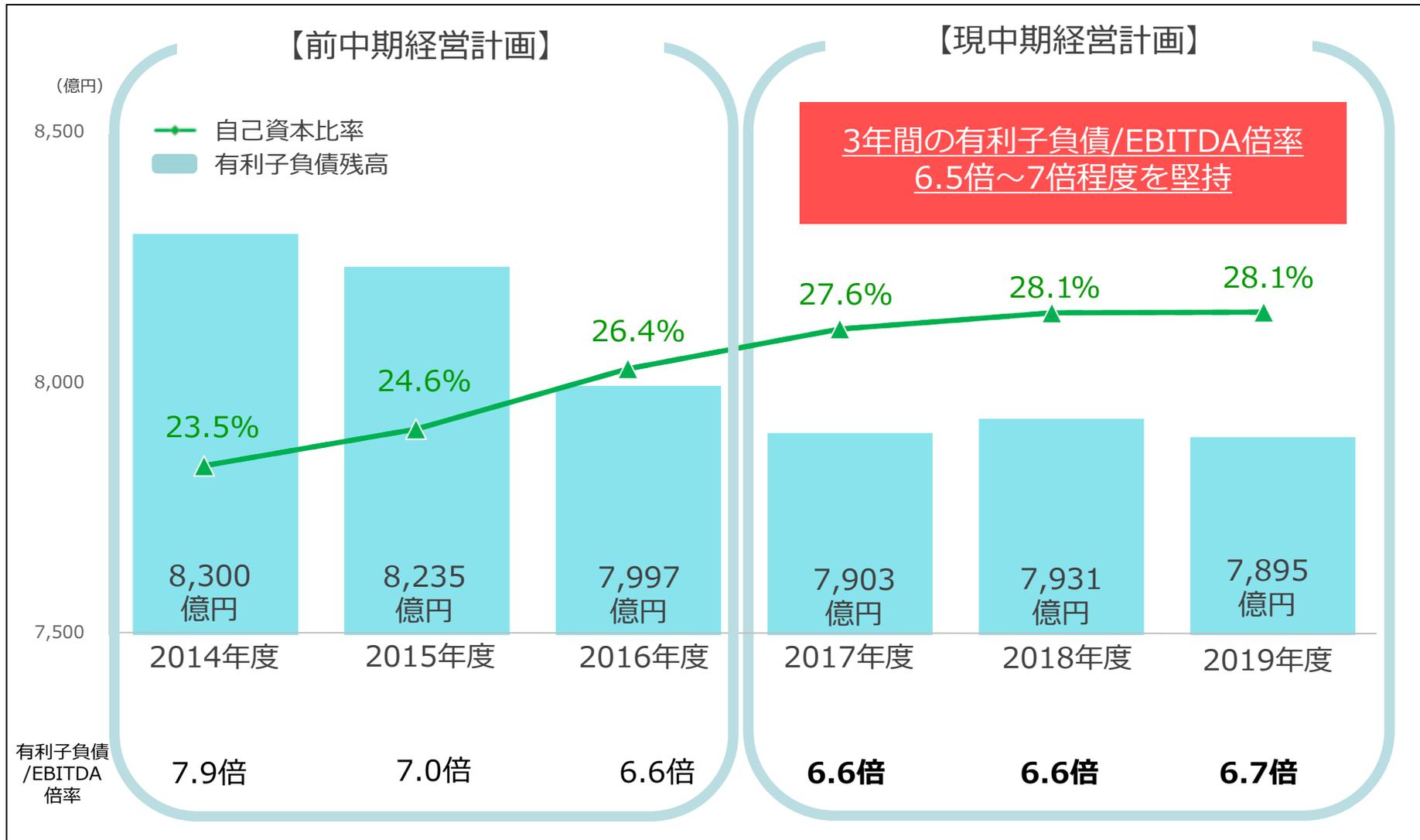


総還元性向：37.5%

※ 1株当たり配当金は、2017年10月1日付で実施した株式併合（普通株式5株を1株に併合）の影響を考慮した金額を記載

- 自己株式取得額
- 年間配当金総額
- ▲ 1株当たり配当金

財務健全性の堅持



今後に向けて

東武グループ
基本方針

政府及び各自治体の施策・要請に沿って協力し、社会と一体となって対応する

お客様、東武グループ
従業員・家族を守る



事業と雇用を継続し
社会的責任を果たす

2020年度における取り組み

現在の状況下において、最大限の利益確保を図る

- ・ 新しい生活様式でのニーズをとらえる事業の推進
- ・ 費用削減、安全対策投資を除く投資計画の見直し
- ・ 既存投資事業の早期収益化
- ・ Go Toキャンペーン等、回復期における需要の取り込み



次期中期経営計画までの間における事業運営の考え方

当社の主たる事業基盤である沿線に集中

- ・ 3世代ファミリーが住みやすい沿線づくり
- ・ ポイントサービスを活用したグループ収益強化



PASMO

当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、今後の経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている内容とは異なる場合がありますことをご承知おきください。